

図画工作科学習指導案

I 題 材 ぼくは サム・フランシス！

II 考 察

1 題材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

B鑑賞（1）親しみのある作品などを鑑賞する。

(2) 培われる主な資質・能力

- ・自分たちの作品，親しみのある美術作品などのよさや美しさを自分の思いをもって味わおうとする態度
- ・感じたことを話したり，話し合ったりしながら，形や色，表し方の変化，表現の意図や特徴などを捉え，よさや美しさを感じ取る力

(3) 題材の価値

本題材は，選んだり描いたりする体験を基に自分で鑑賞の観点を見付け，その観点を基に作品のよさについて友達と話し合いながら，抽象絵画を鑑賞する学習である。その価値は以下のとおりである。

子どもたちは，造形的な特徴の顕著な3点のサム・フランシスの作品から，自分なりによいと思う作品の一つを選ぶ。そして，選んだ作品を見ながら，その作品を描いたときのサム・フランシスになったつもりでもう一枚の作品を描くための色や描き方，技法を選びながら，抽象的な作品を数点描く。自分で描いた数点の作品から，もし，サム・フランシスのもう一つの作品があったらどのような作品がふさわしいか考えて1点選ぶ。このような選ぶことや描くことを繰り返しながら，自分で選んだり描いたりして体験した印象と，サム・フランシスの作品を見た印象とのずれに気付くことを繰り返すことによって，自分が選んだ根拠を明らかにすることができる。そして，明らかになった根拠を自分なりの鑑賞の観点としながら，初めて鑑賞する抽象絵画を自分なりに味わおうとすることができるようになる。

また，繰り返し選んだり描いたり，サム・フランシスの作品と自分たちの作品を見比べながら鑑賞の観点を基にサム・フランシスの作品のよさについて話し合ったりすることで，サム・フランシスの作品の造形的な特徴を捉え，自分なりによさや美しさを感じ取ることができるようになる。

以上のように，抽象絵画の造形的な特徴を捉え，自分なりによさや美しさを感じ取ることができるような教材の価値は以下のとおりである。

本題材で取り挙げるサム・フランシスの作品は，初めて鑑賞する抽象絵画であるが，形がはっきりとしない色鮮やかな抽象絵画であり，具体的に何が描かれているかよりも，形や色，配置などの造形的な特徴に子どもの意識が向きやすい。3点のサム・フランシスの作品はそれぞれ特に「形そのものがもつ動きや方向感」，「色の明るさや鮮やかさ」，「配置のバランス」などの造形的な特徴が顕著であり，抽象絵画の造形的な特徴を捉えながら，自分なりによさや美しさを感じ取ることができる。

また，3年「絵の具のまほうつかい」や，5年「だれも知らない世界への旅」で学習したにじみ塗りやドリッピングなどの水彩絵の具による様々な表し方や，たらし込みや余白を生かした配置のバランスなど書道や日本美術にも通じる技法が用いられた抽象絵画であるため親しみやすく，自分で選んだり描いたりして体験した印象と，サ

ム・フランシスの作品を見た印象とのずれに気付きやすい。そのため、自分の体験を基にしながら、サム・フランシスが作品を描いたときの配慮や思いについて想像や推理を働かせながら、自分なりの見方や感じ方で味わうことができる。

＜サム・フランシスの作品＞



形そのものもつ動きや方向感



色の明るさや鮮やかさ



配置のバランス

＜水彩絵の具による様々な表し方＞



にじみ塗り



ドリッピング



書（余白を生かした配置）

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「心の形」での、抽象的に表現された立体作品を自分らしい見方や感じ方で鑑賞する学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「ふしぎな世界」において、想像の世界を表した絵に関心を持ち、形や色、配置などの観点から捉えたことを結びつけながら鑑賞する学習に取り組んできた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は次のとおりである。

- ・子どもたちは、想像の世界を表した絵を見ることに関心を持ち、進んで絵の世界を考えようとしていることができる。このような子どもたちが、自分で描いたり選んだりする体験を根拠にしながらサム・フランシスの作品と見比べることができるよう、自分や友達の描いた抽象的な作品を、試行錯誤を繰り返すことのできる学習材の工夫として用意する。
- ・子どもたちは、形や色、配置などの観点を結びつけながら作品のよさを捉えることができる。このような子どもたちが、形そのものもつ動きや方向感、色の明るさや鮮やかさ、配置のバランスなどの造形的な特徴に気付くことができるよう、同じ作品を選んだグループで、体験や自分たちの描いた抽象的な作品を基にしながら話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい サム・フランシスの作品と自分たちの作品を並べて鑑賞し、サム・フランシスの作品のすごさについて話し合いながら、形そのものもつ動きや方向感、色の明るさや鮮やかさ、配置のバランスなどの造形的な特徴を捉えて、自分なりによさや美しさを味わう。
- 2 準備 サム・フランシスの作品をA1版程度の大きさに印刷したもの3点
学習プリント タブレットPC 電子黒板

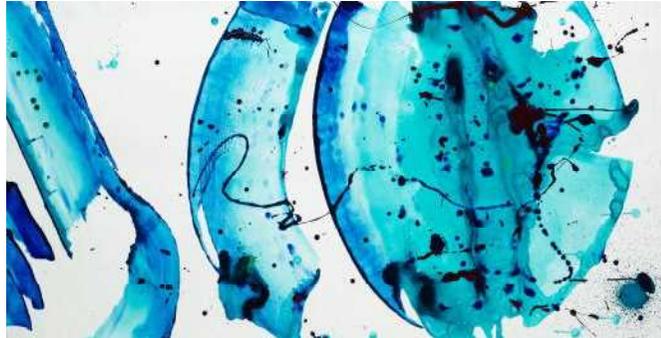
3 展 開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）
<p>1 本時の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色のにじみ方が，サム・フランスの作品に近いからこの作品を選んだよ。 ・この時間は，もう一度サム・フランスの作品をじっくり見るのだな。 ・サム・フランスの作品と自分たちの作品を並べて見ると，サム・フランスの作品は色が鮮やかで，自分の作品は，全体的に茶色っぽくなってしまったな。 <p>2 サム・フランスの作品と自分たちの作品を見比べながら，サムフランスの作品のすごいと思う点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サム・フランスの作品は，黒を使っても，色が濁っていないくて鮮やかなところがすごいと思うよ。 ・ドリッピングで描いた線は，勢いを感じるな。 ・ど真ん中に蛇みたいな形があって迫力があるな。 ・友達の作品も，黒を使っているけどあまり濁っていないな。乾いてから塗ったのかな。 ・確かに自分も，少し乾いてから他の色を塗ったときは，にじまなかったな。 ・サム・フランスは，一度塗った所が少し乾いてから色を塗ったので，色が鮮やかできれいなのかな。 <p>3 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サム・フランスの作品は，様々な色がきれいに混じり合っているところが気に入ったよ。 ・はじめは，よく分からない絵と思ったけれど，自分なりによく見たら好きになったよ。もっと他の作品も見てみたいな。 	<p>○学習の見通しがもてるよう，子どもの作品を紹介し，その作品を選んだ理由を問いかける。</p> <p>○サム・フランスの作品と自分たちの作品を並べて鑑賞できるよう，鑑賞する場を設定する。</p> <div data-bbox="842 573 1270 797" style="text-align: center;"> <p>は電子黒板</p> </div> <p>☆自分で選んだり描いたりする体験を基にして，サム・フランスの作品と見比べることができるよう，自分や友達の描いた抽象的な作品を学習材として設定する。</p> <p>☆形そのものがもつ動きや方向感，色の明るさや鮮やかさ，配置のバランスなどの造形的な特徴に気付くことができるよう，同じ作品を選んだグループで，体験や自分たちの描いた抽象的な作品を基にしながら話し合う活動を設定する。なお，グループの人数は話し合いやすい人数になるよう適宜調整する。</p> <p>○新たな視点を得て抽象絵画の造形的な特徴を捉えることができるよう，造形的な特徴や技法について発言している子どもを賞賛する。</p> <p>○抽象絵画の造形的な特徴を捉え，よさや美しさを感じ取ることができるよう，自分の作品との違いについて問いかける。</p> <p>○自分なりに感じ取ったよさや美しさを振り返りながら，味わうことができるよう，サム・フランスの作品のよいところを学習プリントに書く活動を設定する。</p> <div data-bbox="751 1749 1342 1910" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">抽象絵画の造形的な特徴を捉え，自分なりに感じ取ったよさや美しさについて記述している。 <学習プリント（4）></p> </div>

題材	ぼくは サム・フランシス！		【領域：B鑑賞（1）】
目標	自分で描いたり選んだりする体験をしながら抽象絵画を鑑賞する活動を通して、造形的な特徴を捉えて、自分なりに抽象絵画のよさや美しさを味わう。		
評価規準	(1) 自分で描いたり選んだりする体験を基に、抽象絵画を自分なりの見方や感じ方で味わおうとしている。 (4) 自分の体験を基にして、サム・フランシスの作品と自分たちの作品を見比べたり友達と話し合ったりしながら、造形的な特徴を捉え、よさや美しさを感じ取っている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は研究上の手立て） 評価項目＜評価方法（観点）＞
ふくらませる・ねる	2	○3点のサム・フランシスの作品の中から1点を選んで、「もし、サム・フランシスのもう一つの作品があったら」と考えながら抽象的な作品を描く。	◇抽象絵画を見ながら、抽象的な作品を自分で描いたり選んだりする活動に進んで取り組んでいる。 ＜作品・行動・発言（1）＞
	1	○サム・フランシスの作品と自分たちの作品を見比べながら、サム・フランシスの作品のどのようところがよいか話し合う。 (本時)	☆体験を基にして、サム・フランシスの作品と見比べることができるよう、自分や友達の描いた抽象的な作品を学習材として設定する。 ☆造形的な特徴に気付くことができるよう、同じ作品を選んだグループで、体験や自分たちの描いた抽象的な作品を基にしながら話し合う活動を設定する。
あじわう・ひろげる		 <p>サム・フランシスの作品 (形そのものがもつ動きや方向感)</p>	 <p>サム・フランシスの作品 (色の明るさや鮮やかさ)</p>
		 <p>サム・フランシスの作品 (配置のバランス)</p>	◇抽象絵画の造形的な特徴を捉え、自分なりに感じ取ったよさや美しさについて記述している。 ＜学習プリント（4）＞
共通事項	サム・フランシスの作品を見たり、自分で抽象的な作品を描いたり選んだりする活動を通して、形や色、配置のバランスなどの造形的な特徴を捉えて、自分なりのイメージをもつ。		

ぼくは サム・フランシス！

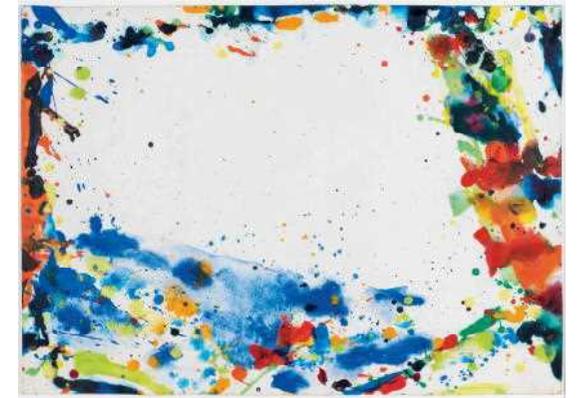
年 組 番 氏 名



サム・フランシスの作品 ①



サム・フランシスの作品 ②



サム・フランシスの作品 ③

1 どの作品が一番よいと思いますか。その理由を書いてください。

2 どの作品が一番よいと思いますか。その理由を書いてください。